



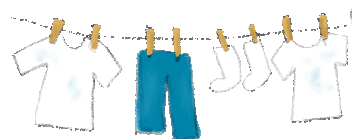
ジメジメ季節が来る前に！

洗濯機の洗濯槽を洗おう！



気持ちのよい季節になりましたね。汗ばむくらいの暑い日もあり、洗濯物もよく乾くようになりました。さて、今回は「酸素系漂白剤」をつかった洗濯機の洗濯槽のお掃除法をご紹介します。以前にもご紹介したことのある酸素系漂白剤は、汚れに酸が反応して汚れを分解する漂白剤です。塩素系漂白剤のようなツンとしたニオイもなく、漂白力が穏やかです。酸素系の漂白剤の主な成分は、「過炭酸ナトリウム」という成分です。使ったあとは炭酸ソーダと酸素、水に分解するので、環境に優しい点が特長です。ドラッグストアなどで買うことができます。

洗濯槽をお掃除しましょう！



洗濯機の中がなんとなく臭い、ということはありませんか？

洗濯槽の裏側にカビや汚れが付着しているかもしれません。酸素系漂白剤で汚れを落としていきましょう。

① 洗濯機の中を空にします

まずは洗濯機内にあるゴミ取りネットを外します。ゴミ取りネットを取ることで奥までしっかり酸素系漂白剤をいきわたらせる事ができます。必ず外しておきましょう！

② 洗濯機の中へ高水位まで 50℃のお湯を入れます

お風呂の残り湯を使ってもOKです！ 酸素系漂白剤でのお掃除に適した水温は 40～50℃です。水温が低いと効果が発揮できませんので、「お湯」をつかってくださいね。

③ 酸素系漂白剤を入れます

酸素系漂白剤を 500～600gほど入れて溶かします。(水 10L につき約 100g の割合です)。洗濯機のスイッチを入れ、「洗い」(10～15 分程)に設定して洗濯機を回してください。排水が始まる前に「停止ボタン」で止め、そのまま2時間以上放置してつけ置きします。ここで排水せず、つけ置きするのがポイントです。汚れがひどい場合は長時間つけ置きします。

④ 浮いた汚れを取り除きます

つけ置きが終わったら、また 5 分ほど攪拌し、脱水する前に浮いてきたカビなどの汚れをネットなどですくってから、脱水します。

⑤ 仕上げをします

高水位まで水を入れ、「すすぎ⇒排水⇒脱水」を1コース行います。その後、洗濯機にゴミ取りネットを装着し、きれいな水を入れてもう1コース回します。一度で汚れが取りきれないときは同じ作業を繰り返します。

ジメジメの梅雨が来る前に洗濯機をきれいにしておきたいですね♪

